

学校経営目標：夢と希望をはぐくむ学校

教育目標： 考える子 思いやりのある子 やりぬく子

本宮市立本宮小学校

学校だより第 17 号

令和 4 年 11 月 8 日

校 長 穂山俊之



本小だより



街中に先囃子の太鼓の音が響く 4年ぶりに本宮の秋祭り開催！

今年は4年ぶりに、10月21日(金)から23日(日)までの3日間、本宮の秋祭り＝安達太良神社の秋季例大祭が開催されました。

本宮小の子どもたちのなかには、屋台に乗って太鼓を叩くことにあこがれ、太鼓の練習に励んでいる子どもたちがたくさんいます。こうした子どもたちの活動

が、伝統文化としての本宮の秋祭りを支えています。

そこで、10月21日(金)は、地域のお祭を楽しみ、本宮に生まれ育ったことに誇りを持ち、本宮のよさを再確認できるよう、学校を3校時限、午前11時下校としました。

21日(金)から3日間、子どもたちが参加している、伝統の先囃子や太鼓台が、街中をにぎやかに練り歩く光景が見られました。



1年生生活科 たのしい秋いっぱい

1年生の生活科では現在、「たのしい秋いっぱい」の学習をしています。

10月27日(木)の5校時、落ち葉や実などの秋を見つけに、学校の北側にある花山公園（安達太良神社）へ出かけました。

この日はとても良いお天気で、秋のお出かけにはぴったりでした。

「ねえ、先生、見て見て。どんぐりとったよ。」

「ぼくの葉っぱも見て。」

「わたしは、丸いどんぐりだよ。」

「なんだか、トトロが出てきそう。」

子どもたちは、赤や黄色に染まったもみじの葉っぱやかわいいどんぐりなど、たくさんの秋を見つけて大喜び。袋いっぱいにきれいなものや面白いものを詰め込んで、学校へ戻ってきました。拾ってきたどんぐりやもみじの葉っぱは、生活科や図工の材料に使用する予定です。





5年生 図画工作科 あったらしい町 どんない町

5年生は現在、図画工作科の学習で「あったらしい町 どんない町」に取り組んでいます。「あったらしいな、行ってみたいな。」と思う町を想像して、絵に表す学習です。

10月24日(月)の3、4校時、下描きが終わった2組の子どもたちが、絵の具やコンテ、クレパス等を使って、色塗り作業を進めていました。

「その町には、どんな建物があるのかな？」

「誰が住んでいるの？」

「どんな、素敵な事がおこっているの？」

町にあるものや出来事を想像し、イメージを広げ、表現します。

いたる所から音楽が聞こえて来そうな町、まるで海の中のような町、地下にある町、人が住めそうなほど大きな樹木や草花のある町……。

子どもたちが「行ってみたいな、住んでみたいな、あったらしいな」と思う町の数々が、教室中のあちらこちらに。個性的な絵が仕上がりに近づいています。



4年生 総合 森林環境学習

11月2日(水)、4年生は、森林学習でフォレストパークあだたらに行ってきました。

午前中、森の案内人の方々から、森林を案内していただきながら、森林に生息する様々な動植物の名称やその生態などについて教えていただきました。



たくさんの植物、生き物を観察することができ、森の豊かさに気づくことができました。

その後、美味しいお弁当を食べ、午後からは、みんなで木工クラフトに挑戦しました。記念のお土産になりましたね。

予告なし避難訓練

予告なし避難訓練

11月4日(金)の昼休みに、予告なしの避難訓練(地震が発生)を行いました。

授業中、担任がいる場合とは異なる状態でしたので、普段の避難訓練への取り組む姿勢や放送の指示をよく聞いて行動することなどが求められます。

多くの子どもたちが、放送をよく聞き、落ち着いて行動することができました。

いつ起こるのか、わからないのが災害です。

放送をよく聞くこと、落ち着いて行動できることは、自分の命を自分で守る第一歩。

いざという時に、自分の命を守るための「判断力」と「行動力」を身に付けていくよう今後も指導していきます。



産休のお知らせ



4年2組担任の落合梢江が、11月6日から、しばらくの間、赤ちゃんを産むためのお休みに入ることになりました。

そこで、11月4日(金)の昼の全校テレビ集会で、お休みに入る前のあいさつをしました。

落合先生の赤ちゃんが生まれるのは、今年の12月の終わり頃だそうです。元気なお子さんが生まれることを、みんなで願っています。そして、元気な赤ちゃんが生まれたら、本宮小に赤ちゃんと一緒に遊びにきてほしいです。

なお、4年2組は、これまで3年と5年の図工を担当していました森島陽斗(もりしまはると)が担任します。どうぞ、よろしくお願ひします。

